

5分で読める

ちょっと役に立つ

介護事故予防のために  
**介護保険事故件数報告**  
を知っておきましょう

平成26年4月

### ●介護事故の現状把握

介護事故は、いつごろに、どんな介護状態の患者が、どんな場所で、どんな事故内容に遭い、どんな傷害状態になるのでしょうか。以上のことを知れば、介護患者の事故予防や再発防止に役に立つでしょう。

家庭で介護事故が起こったとします。患者の介護状態が悪くなったりします。そうなれば家族の介護もきつくなります。ご家族が介護事故の現状を知っておくことは予防に役に立つでしょう。

そこで、厚生労働省の介護事故報告のデータを調べてみました。私が調べた限り見当たりませんでした。

### ●介護事故の現状把握から予防対策へ

本来介護保険は市区町村が保険者です。市区町村が事故報告を調べているのでは……。

それで、各市区町村の介護事故報告データをあたってみました。それがありませんでした。東京都世田谷区が平成18年度から調べたデータがありました。

事故を防ぐにはまず現状を把握することです。それに最適なデータです。

今号はその目的で『東京都世田谷区平成23年度介護事故報告』を小冊子にまとめてみました。

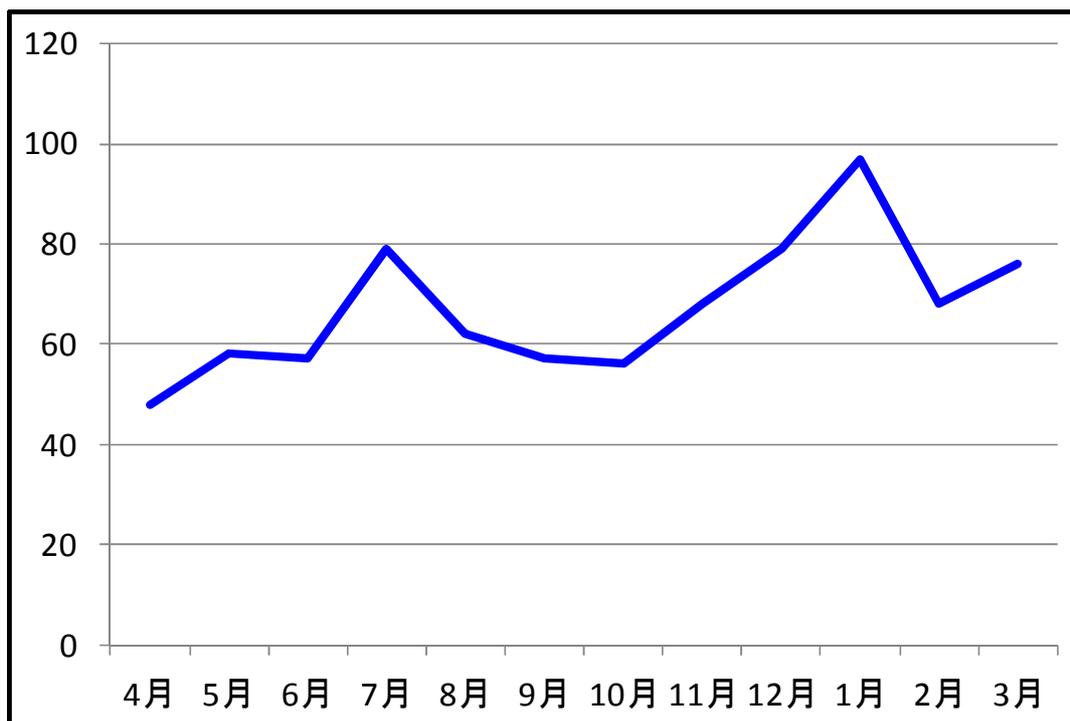
まず現状把握編。次に対策編と数回にわたって報告します。

ちょっとデータばかりで無味乾燥な内容です。でも、しっかりした現状把握が介護事故予防のスタートです。

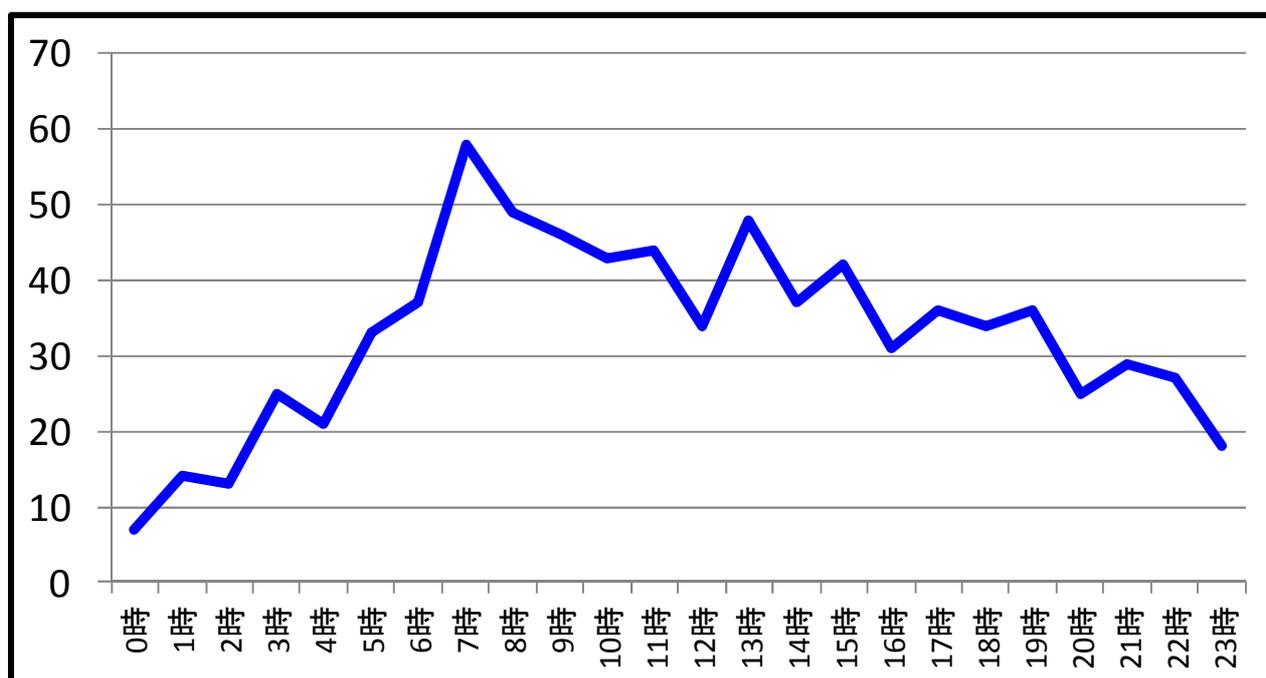
## いつごろに介護事故が多いか

介護事故が多数起こる時期は、夏の暑い7月と冬の寒い1～2月がピークです。時間は7時～9時、13時～14時が多いです。ということで、夏と冬の起床から食事、午後も食事後に多いです。

### ●月別事故件数

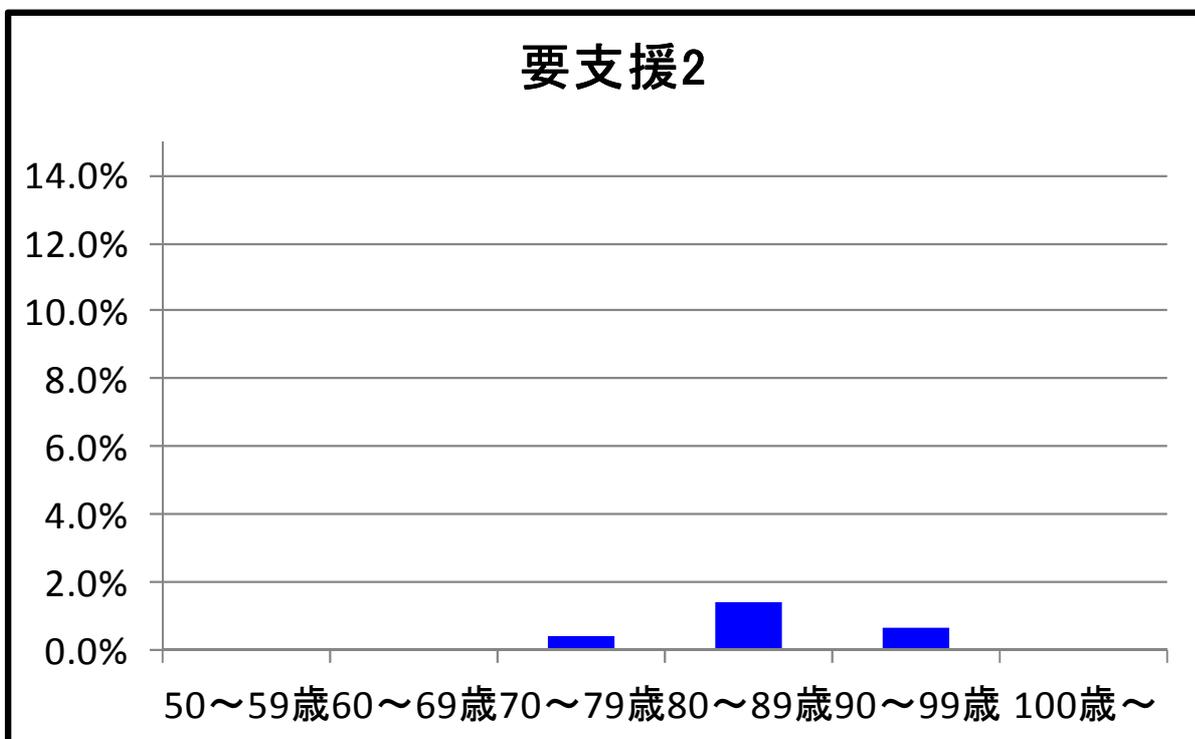
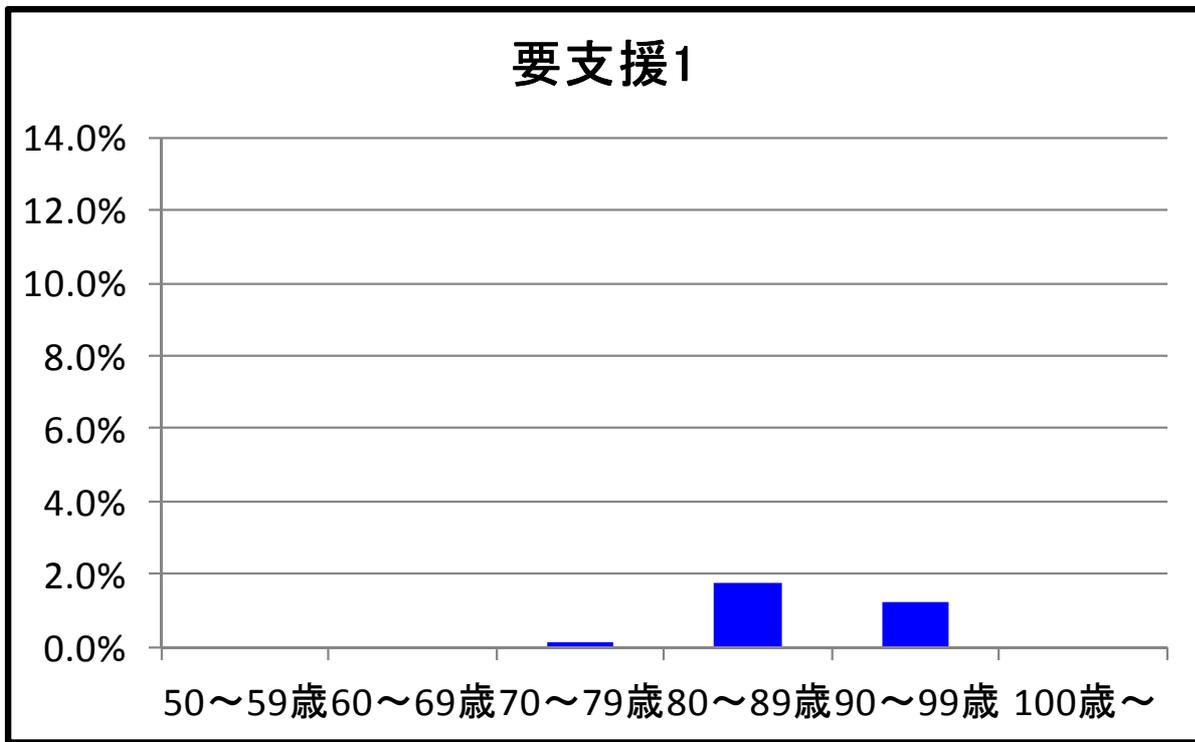


### ●時間別事故件数

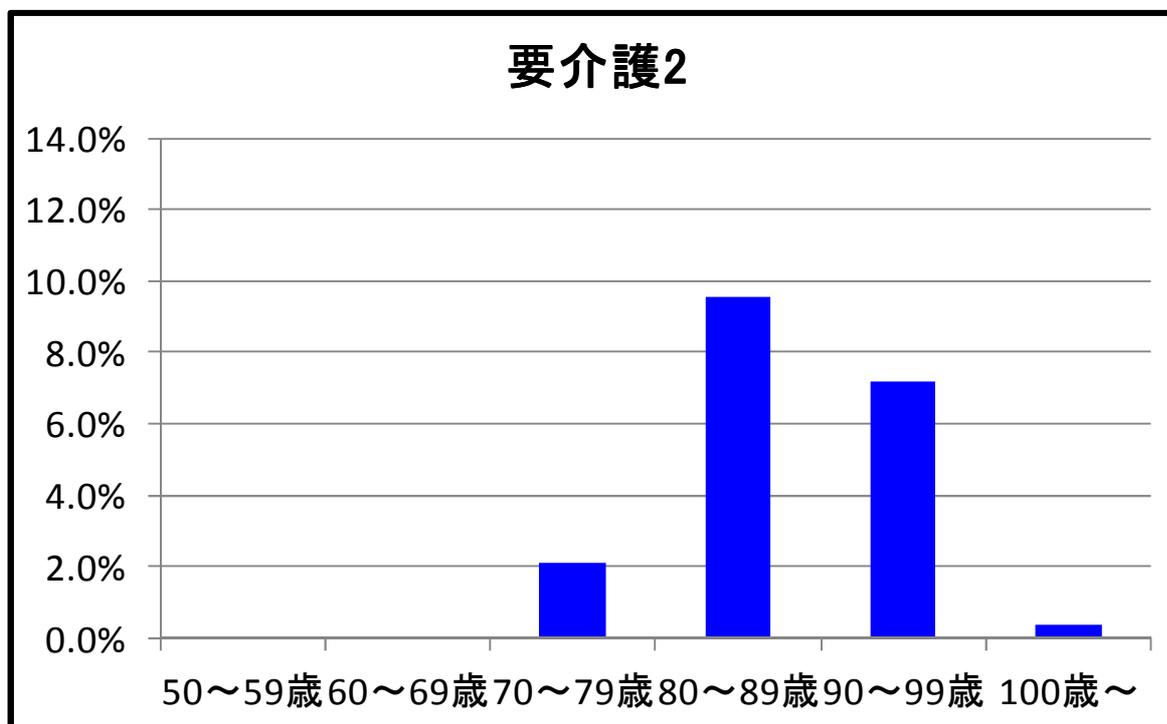
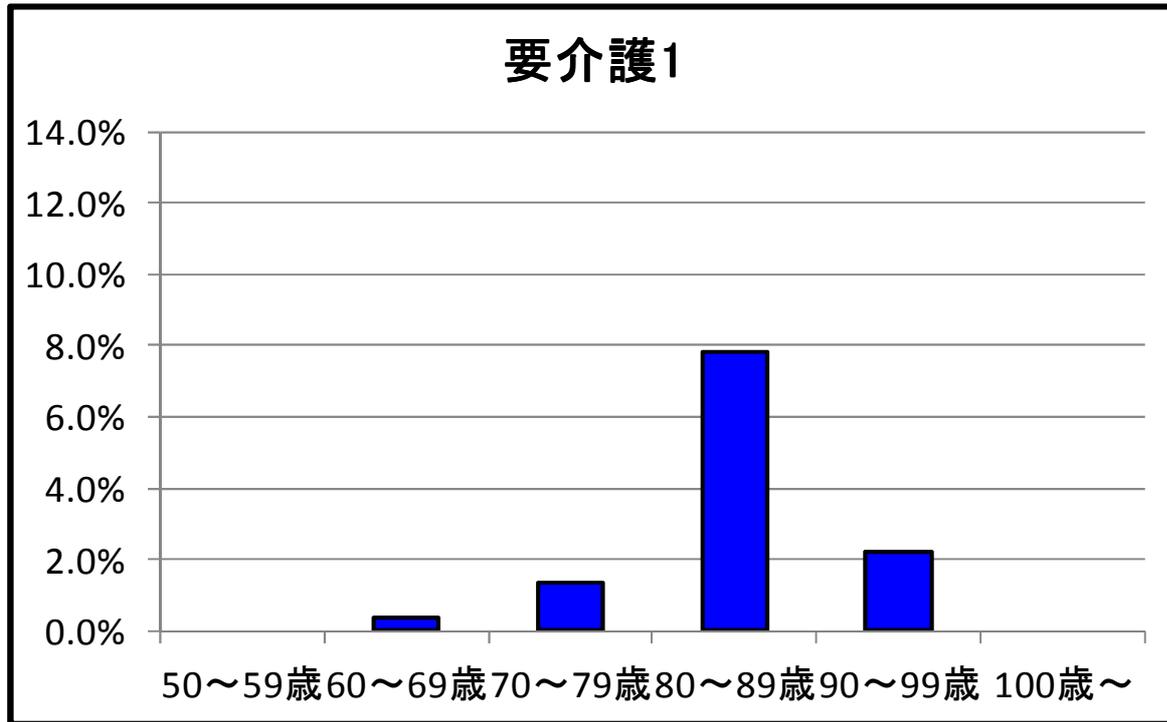


## どんな介護状態の患者が多いか

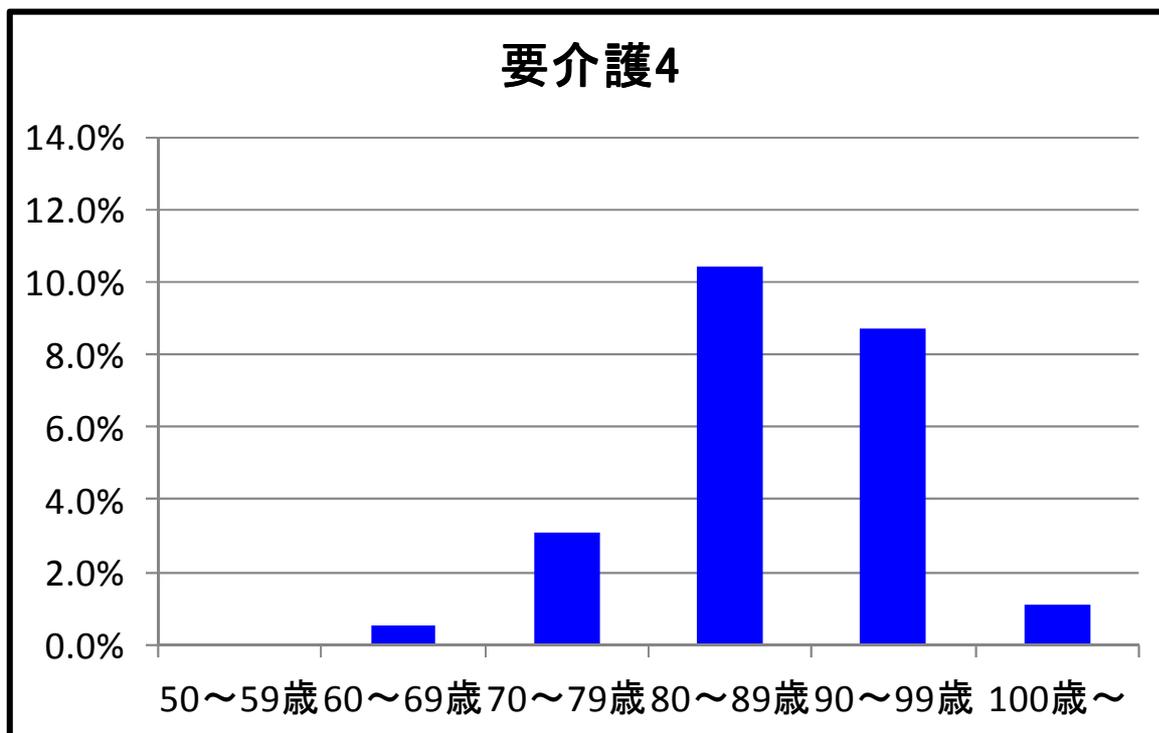
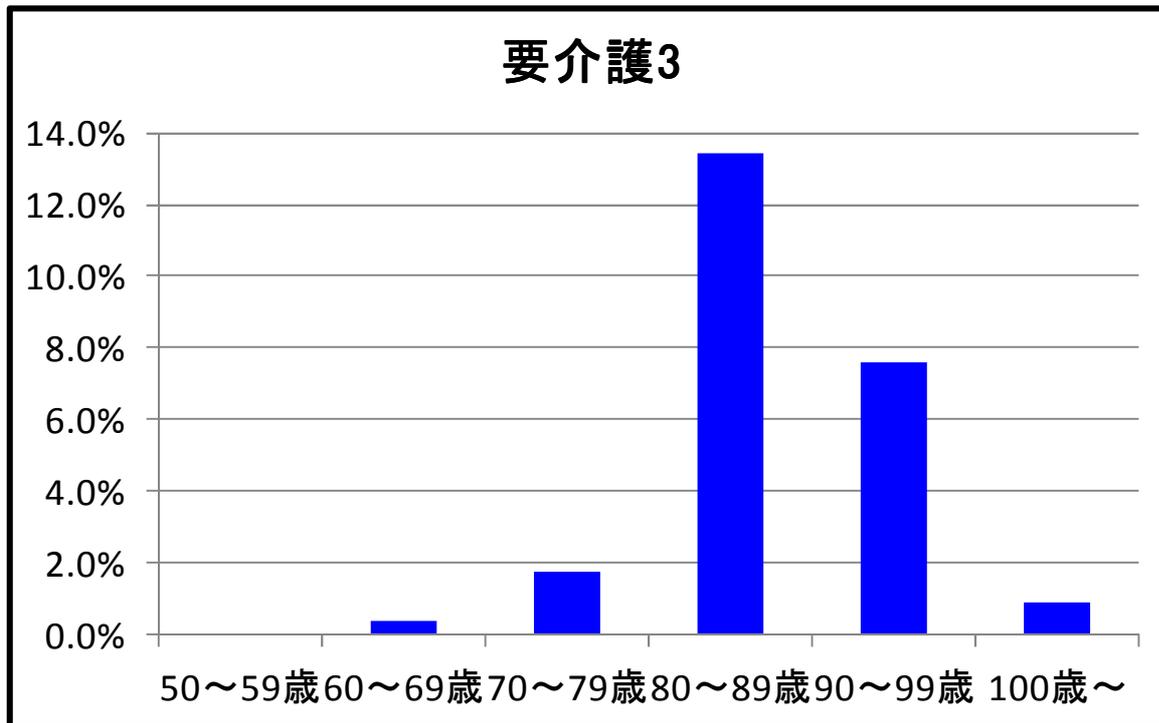
要支援1、2の介護患者は80歳～90歳代が多いです。



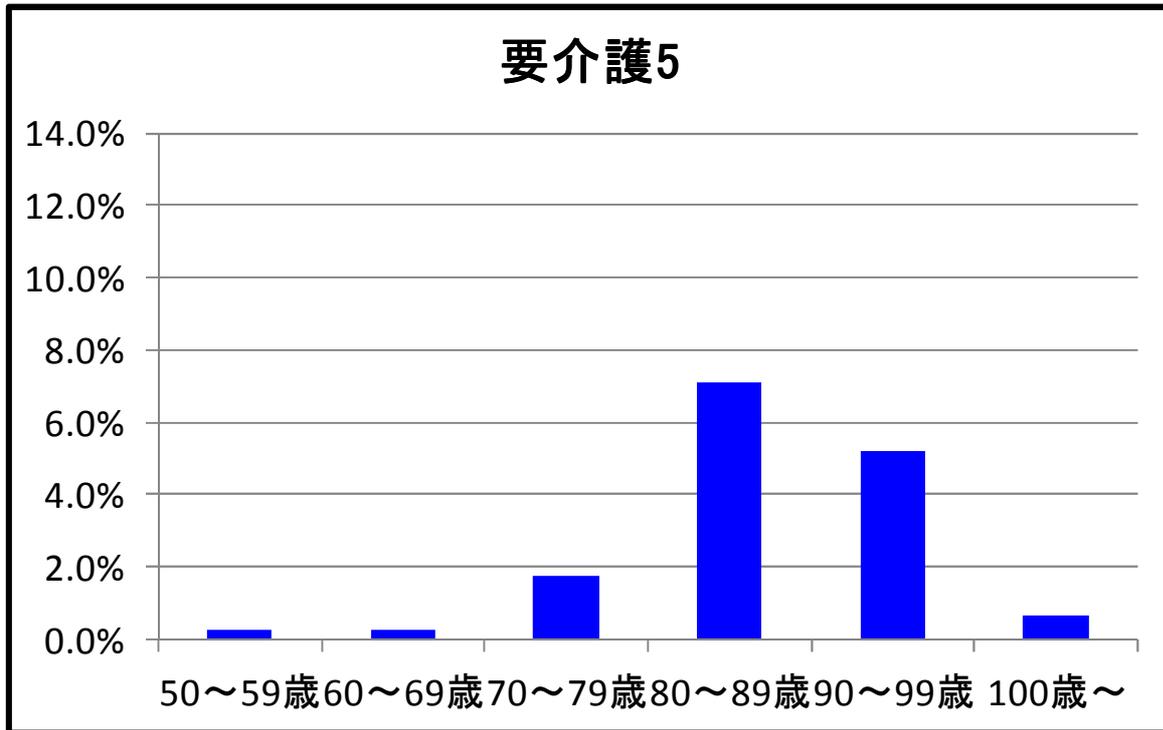
要介護1、2の介護患者は80歳代が際立って多くなります。  
60歳代、70歳、90歳代も介護事故が増えてきます。



要介護3、4になると介護患者の80歳、90歳代が特に多くなります。  
その上、事故件数も多くなります。

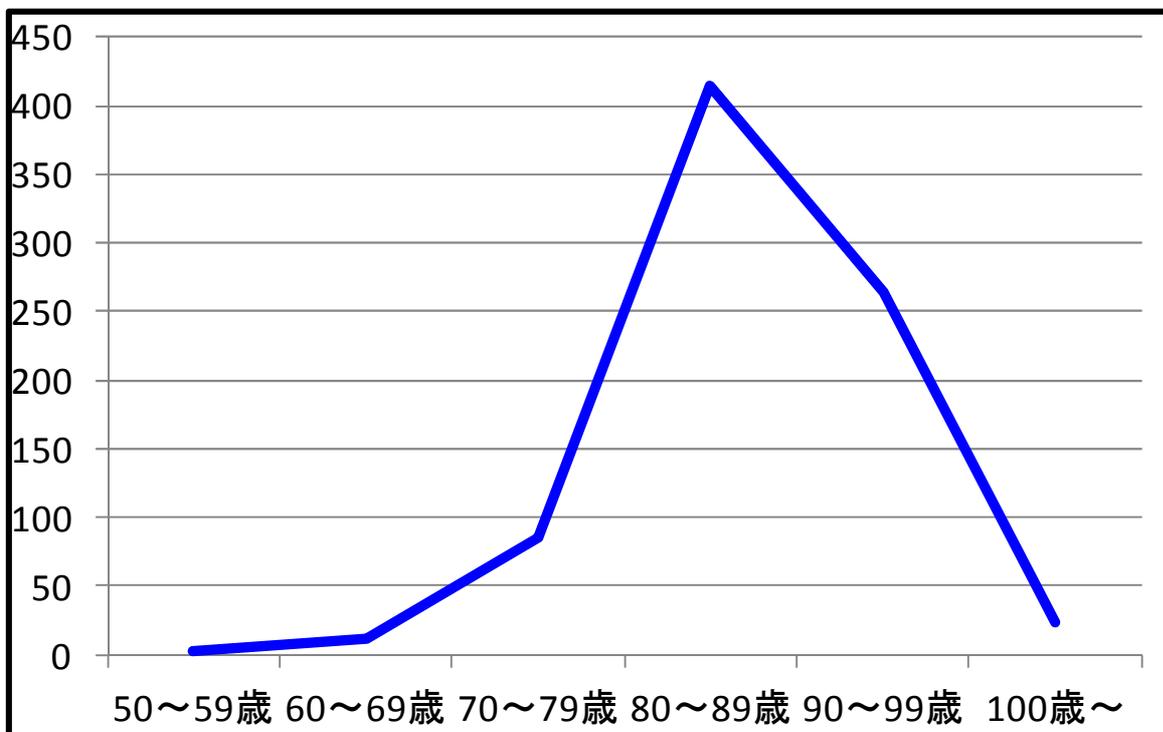


要介護5になると介護患者の50歳～100歳まで介護事故が起こっています。



#### ●介護事故件数

年齢別の介護事故件数は80歳代がピークです。



以上の介護保険事故報告データから  
介護事故の多い年齢は80歳代です

